



みんな楽しく みんなでもチャレンジ みんなまる笑顔の

みんなまのこ

南有馬小学校だより No.12

令和8年7月3日（金）
南島原市立南有馬小学校
校長 大草 修三

たくさんのご来校、ありがとうございました ～長崎っ子の心を見つめる教育週間～

6月22日（月）から28日（日）の1週間は、南有馬小学校の「長崎っ子の心を見つめる教育週間」でした。この期間、本校に延べ190名の保護者の方、地域の方に来校していただき、子どもたちの学習の様子を見ていただきました。また、延べ30名の地域の方に、子どもたちの学習活動にご協力いただきました。改めて、南有馬小学校は保護者の方々、たくさんの地域の方々に温かく支えられていることを実感した次第です。本当にありがとうございました。

今回は、この1週間の取組をピックアップしてご紹介します。

22日（月）全校集会（校長講話）

教育週間の始まりにあたり、私が子どもたちに話をしました。「せかいで たったひとつの たからもの」という題で話をしました。世界広しといえども、唯一無二の存在である「あなた」に対して私なりの言葉で思いを伝えました。最後に次のようなメッセージを子どもたちに伝えました。

あなたが いま いっしょうけんめい いきて、
わらって、おなはししてくれる。
それだけで、おとうさんや おかあさん、
ちいきのかた、せんせいたち、おともだちは、
たくさんの しあわせを もらっています。
あなたは、せかいで たったひとつの
たからものです。

23日（火）読み語り

原城図書館友の会の方々が、1年生、2年生、6年生に読み語りをしてくださいました。絵本や紙芝居の世界に引き込まれ、友の会の方の語りに耳を傾けている子どもたち。心にしっかりと染み入っている様子でした。



23日（火）6年生ふるさと発見ツアー

6年生が総合的な学習の時間に、有馬キリシタン遺産記念館と原城跡で「島原・天草一揆」のことを学びました。子どもたちは身近な場所であっても知らないことがたくさんあることがわかり、ふるさとの歴史に触れるよい機会になりました。あいにくの雨模様でしたが、原城では新しくできた「二の丸総合案内所」でガイドの竹下さん



から説明を聞くことができました。私も初めて中に入りました。

（裏へ続く）

26日(金) 授業参観、学級部会

全学年、道徳の授業を公開しました。それぞれの学年で、命の大切さ、思いやりの大切さといった内容の学習をしました。子どもたちは「命は大切だ」「思いやりの心が大切だ」ということはすでに知っています。そんな子どもたちが、今回のような学習を重ねることで、いろいろな考えや捉え方に触れ、「命」「思いやり」に対する自分の考えを広げたり、深めたりするのです。ご家庭でも「命」「思いやり」について、親子で話をされてみてはいかがでしょうか。子どもたちの意外な一面、成長に気づかれるかもしれません。



授業参観の後に行われた学級部会では、担任から1学期の子どもたちの様子や夏休みの生活について話をしました。また、メディアに関する動画を視聴していただき、家庭でのメディア利用の様子などについて情報交換をしていただきました。

お忙しい中、また、お足元の悪い中、授業参観、学級部会への参加、誠にありがとうございました。

28日(日) PTA 親睦モルック大会

約80名の保護者の方に、PTA 親睦モルック大会に参加していただきました。PTA 会員の親睦を目的にしたレクリエーション大会でモルックをするのは初めてということで、大変楽しみにしていました。初めてされた方が多かったのではないかと思います。ですが、試合を重ねるごとに要領をつかまれ、またチームワークも深まり、どのチームも楽しく競技されていました。

大会の結果は、以下のとおりでした。

優勝：6年Cチーム

準優勝：教職員Cチーム

第3位：6年Aチーム、4年Aチーム

なお、優勝した6年Cチームと第3位の4年Aチームの2チームは、11月7日(土)に開催予定の市P連主催のモルック大会に出場されます。ご活躍を期待しています。

※準優勝は教職員チームだったので市P連の大会への出場無し。また、もう一つの第3位、6年Aチームは、優勝したチームと同じ学年なので出場無し。ということで、4年生Aチームが市P連大会への出場となりました。

本に親しもう！

～南小10選～



先週から子どもたちは「南小10選」という読書活動に取り組んでいます。これは、各学年で読んでほしい本(シリーズを含む)10冊を子どもたちが読み、いろいろな先生にお話の内容や感想を伝える活動です。子どもたちがより一層読書に親しむことをねらいにした取組です。

校長室にもよく子どもたちが来ます。そして、読んだ本を紹介し、感想を伝えてくれます。中には、私に読み語りをしてくれた子もいました。

子どもたちから読んだ本の話や感想を聞く時間は、私にとって至福のひと時です。自分が読んだ本のことを一所懸命伝えようとする子どもの姿は、本当に愛おしいです。

本を読むことによって、人は実際の生活では経験できないようなことを疑似体験したり、歴史上の人物に出会ったりします。このことが、心豊かな生活につながることは間違いありません。

ご家庭でも「今、どんな本読んでるの？」と尋ねてみてください。きっと、ニコッと笑って「あのね…」と話してくれると思います。